

「瀬田川及び天ヶ瀬ダム再開発環境ワーキンググループ会議」について

(設立趣意書)

瀬田川改修及び天ヶ瀬ダム再開発事業による環境影響については、これまで淀川水系河川整備計画基礎案において、環境に関する調査検討項目として、

瀬田川改修事業については、

- 1) 瀬田川下流(瀬田川洗堰から天ヶ瀬ダムまで)の流下能力の増大方法を環境、景観の両観点から検討

天ヶ瀬ダム再開発事業については

- 2) 放流方法の変更に伴う環境への影響についての調査・検討を行う。
- 3) 貯水池運用の変更に伴う環境等の諸調査を行う。
- 4) 土砂移動の連続性の確保する方策の検討を行う。

を掲げ、調査検討を進めてきました。

その結果、平成17年7月1日に発表した「淀川水系5ダムについての方針」においては、天ヶ瀬ダム再開発による環境への影響としては、

放流能力の増大による低周波音の拡大
下流河川の流況の変化
貯水池水位の変動幅の増加 等

が考えられ、より詳細な検討を継続して進める必要があるとしています。

本ワーキンググループでは、その中で特に「貯水池水位の変動幅の増加」によるダム湖内やダム湖周辺の環境への影響及びその具体的な低減策等について、専門家による指導、助言を頂き、天ヶ瀬ダム再開発事業における環境影響評価についてとりまとめることを目的とします。

また、継続実施している瀬田川下流河道掘削についての指導・助言を行うこととします。

**琵琶湖及び周辺河川環境に関する専門家グループ制度
第7回アドバイザー会議 議事のまとめ [抜粋] (未定稿)**

1. 議事次第

議 事 次 第	
1. 開会挨拶	琵琶湖河川事務所長
2. 議 事	
(1) 審議事項：ワーキンググループの設立について 「瀬田川及び天ヶ瀬ダム再開発環境ワーキンググループ(仮称)」について	
(2) 報告事項：水陸移行帯WGからの報告	
3. 閉 会	

日時：平成 17 年 11 月 22 日 (火) 10:00 ~ 12:00

場所：ぱるるプラザ京都 7F スタジオ5

2. 出席者

<p>専門家グループ：中川委員、嘉田委員、中村委員</p> <p>琵琶湖河川事務所：河村、小山下、福知、佐久間、宮本、重畠</p> <p>財団法人河川環境管理財団：持田、井上、瀬戸口</p>

3. 議事のまとめ

項 目	1. 審議事項：ワーキンググループの設立について
意見の まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・流域委員会から天ヶ瀬ダム再開発の放流方法の変更による環境影響についての取りまとめを求められていることもあり、洗堰から天ヶ瀬ダムまでを検討対象区間として、「瀬田川及び天ヶ瀬ダム再開発環境ワーキンググループ(仮称)」を設置させていただき、瀬田川改修継続事業並びに天ヶ瀬ダム再開発事業について御議論頂きたい。(なお、天ヶ瀬ダムより下流部は、淀川環境委員会で検討予定) ・天ヶ瀬ダム再開発は、琵琶湖の水位変動と直結するものでありマクロ的に見れば非常に幅の広い議論を必要とする。この議論は流域委員会の琵琶湖部会や水位管理WGなど様々な場があり、今回提案のあったワーキングで全ての議論を進めることにはならない。そこで、このワーキングでは当面、早急の課題を中心に議論を行うべきである。なお、事務局からは今年度中にまとめまで行いたいと提案があったが、それは困難であると思う。 ・天ヶ瀬ダム再開発を幅広く議論するのであれば西野麻知子先生も加えることも考えられるが、個別の議論を行うのであれば事務局から提案のあった環境の先生方を中心にリストアップされた3名の委員で問題ないと思う。 ・ワーキンググループの設立について了承され、専門家メンバーとして綾委員、紀平委員、竹門委員への委嘱をお願いすることとなった。
今後の 方針等	<p>当面、早急の課題の検討を行う。このワーキングは今年度中を目標として実施し、とりまとめができれば、アドバイザー会議にて報告を行う。</p>